

水害や土砂災害への 備えをしましょう

昨年の台風第19号のような大規模災害時には、行政による救助・救援だけでは限界があり、自分の身は自分で守る「自助」や、地域社会で助け合う「共助」が大切です。日頃から災害への備えを心掛けましょう。

市民安全課 ☎(88)9185

危険箇所・避難所の 事前確認

近年、人命に危険を及ぼす大雨が発生しています。市では、浸水想定区域のほか、土砂災害警戒区域も記載した新しいハザードマップを作成しており、完成後、市民の皆さんに配布します。

自宅や勤務先近くの浸水想定区域などの危険区域や、避難所と安全な避難ルートを事前に確認し、水害や土砂災害に備えましょう。

非常用持ち出し品の準備

大規模災害時は、避難所や皆さんの手元に支援物資が届

くまでに時間が掛かります。いざという時に備え、非常用持ち出し品を準備しておくことが大切です。

積極的な防災情報の収集

市では、災害時、防災行政無線 緊急速報エリアメール、市ホームページ、防災すかがわツイッター、ウルトラFM、消防団による広報活動など、様々な手段を活用し、防災情報の発信に努めています。皆さんも、市からの防災情報のほか、テレビやラジオなどの情報と併せて、積極的に防災情報を収集しましょう。



● 主な非常用持ち出し品

- 飲料水
- 非常食
- 毛布
- 懐中電灯
- 携帯ラジオ
- 予備の乾電池
- 常備薬
- 保険証
- マスク
- 体温計

事前に「非常用持ち出し袋」に入れて保管しましょう。



昨年の台風第19号により甚大な被害を受けた小作田橋周辺



日々の備えが大切です(令和元年5月26日・阿武隈川総合水防演習)

情報収集はここから

- 市防災ホームページ
http://bousai.city.sukagawa.fukushima.jp/
- 国土交通省「川の防災情報HP」
http://www.river.go.jp/
- 福島県「河川流域総合情報システム」
http://kaseninf.pref.fukushima.jp/gis/
- 気象庁「洪水警報の危険度分布」
https://www.jma.go.jp/jp/suigaimesh/flood.html
- 気象庁「土砂災害警戒判定メッシュ情報」
https://www.jma.go.jp/jp/doshamesh/
- ウルトラFM 周波数：86.8MHz

防災行政無線の放送内容の確認は

防災行政無線の放送内容は、市防災ホームページなどで確認できます。音声の聞き逃しや、聞きづらかった時などにご利用ください。

- 放送内容の音声ガイドサービス ☎(63)8330

最新の防災行政無線の放送内容を電話で確認できます。

避難所開設状況の確認

避難所に指定している施設が被災し、避難所を開設できないこともあり。事前に市ホームページなどで避難所の開設状況を確認してから、避難をお願いします。

避難の時は

ご近所と助け合って

高齢者や障がい者など、避難するときに助けが必要な人もいます。ご近所で助け合いながら避難しましょう。

雨がやんでも行動は慎重に

昨年の台風第19号では、雨がやんだ後も河川水位が上がり続けました(下のグラフ参照)。

これは、上流部で降った雨が本市まで到達するのに、数時間掛かるためです。雨がやんだ後も、河川の氾濫や決壊の可能性があるので、河川水位などを市の防災情報で確認しましょう。

昨年の台風第19号時の降雨量と河川水位

